

## 患者さんご家族の方へ

「ウログラフィン」による胆管（道）・膵管造影検査、および「ガストログラフィン」による消化管造影検査等に対してイオパミドール 300 注用いることについて（保険適応外使用）

これらの検査等を行うにあたり、検査や治療を滞りなく実施するために、対象となられた患者さんに事前に説明して同意をいただく代わりとして病院ホームページ上で公開することでお知らせをして投薬を行っております。この検査等を行うことは、当院の薬事審議委員会にて評価され承認されています。

この検査等について質問等がありましたら、担当の医師にご相談ください。なお本件について同意できない場合でも、診療においては不利益を被ることはありません。

実施内容	胆管（道）・膵管造影検査等の造影剤「ウログラフィン」、消化管造影検査等の造影剤「ガストログラフィン」の代替として、造影剤「イオパミドール 300 注」を用いて、胆管（道）・膵管造影検査、および消化管造影検査等を行います。
対象者	「ウログラフィン」、「ガストログラフィン」が供給されない期間において、胆管（道）・膵管造影検査、および消化管造影検査等を行う患者
概要	検査等で使用している「ウログラフィン 60%」製剤が 2026 年 1 月から、「ガストログラフィン経口・注腸用」製剤が 2026 年 4 月から、供給停止・限定出荷などとなっており、供給が不安定な状態で、全国的に入手が困難となっています。 当院では、必要な検査や治療を滞りなく実施するため、これらの代替製剤として「イオパミドール 300 注」などを使用します。（保険適応外使用）
安全性・有効性	「イオパミドール」は、国内では、主に血管内投与（CT 検査や血管撮影など）、逆行性尿路撮影などで承認されている医薬品ですが、胆管（道）・膵管造影検査（内視鏡的逆行性胆管膵管造影や経皮経肝胆道造影等）、消化管造影検査等の造影検査に関しては、現時点で国の承認を受けておりません。 本剤は非イオン性ヨード造影剤に分類され、「ウログラフィン」（イオン性ヨード造影剤）と比べて、組織への刺激が少なくアレルギー反応などの副作用の発現頻度も少ないことが報告されています。「ガストログラフィン」とでは、同じヨード系造影剤であり、本剤を消化管造影検査等に用いても同様な副作用頻度と考えています。また本剤は低浸透圧性非イオン性ヨード系造影剤であり、比較的肺毒性が少ないと考えられています。 健康保険で認められている通常の使い方ではありませんが、十分な経過観察を行いながら、副作用等の発現時には適切な対応ができる環境下のもとで使用します。なお、造影剤を変更しても、検査や治療の方法・内容に影響はありません。
費用負担	この検査等にかかる費用は通常の保険診療と同じです。この検査による副作用が生じた場合も保険診療になります。 <b>なお、国の副作用被害救済制度の対象とならない場合がありますのでご了承ください。</b>
承認日 お問い合わせ先	2026 年 6 月 1 日 医療法人社団 同愛会病院 薬事審議委員会 代表 03-3654-3311